

僕の趣味は手品をしたり、漫画や小説を書いたりすることです。家族や友達に披露するとみんなが不思議がったり、面白がったりしてくれます。これらは共通して人を楽しませることだと思います。つまり僕は、人を楽しませることが好きなのです。ここでいう人を楽しませることというのは、エンターテインメント性のあるようなことです。しかし、人を楽しませることというのはもっと幅広くあると考えています。

例えば、家族がいないときに掃除をしておいて、帰ってきたときに驚かせる。これも人を楽しませることに当てはまります。実際、僕は母が帰宅する前に家の掃除をしておいたことがありました。帰ってきた母はすごく驚いた後、とても喜んでいました。その様子を見て、僕もとても嬉しい気分になりました。人を驚かせるような、いわゆるサプライズは同時に人を楽しませることができ、自分も良い気持ちになれるのだと実感しました。

このとき、人を楽しませるということにはどのような方法があるのかと、ふと考えました。僕なりに考えた結果、人を楽しませるということは、大きく二つに分けられるのではないかと思います。

まず一つ目は、直接人を楽しませるという方法です。例えば、SNSやテレビなどでは視聴者を楽しませてくれています。お笑い芸人からスポーツ選手、どこかの社長や先生まで、いろんな人が自分を発信して世間を楽しませています。

そして二つ目は、間接的に楽しませる方法です。困っている人に送る募金などもこれに当てはまります。他にトイレのスリッパを揃えたり、近所のカラスに荒らされたゴミを片付けたりするなどです。これらは助けたことによる反応は確認できないですが、不特定多数の人々を楽しませることのできる行為だと考えました。また、これらには楽しませるという目的以外にも、誰かの役に立つという目的があると思います。

一つ目はもちろんですが、特に二つ目の損得や反応を求めない、人を楽しませる行動は、社会全体をよりよくしているのではないかと僕は考えます。一人ひとりが気を配り合うことで、みんなが快適に、楽しく過ごせるようになり、そのサイクルが社会全体に良い影響を与えてくれているのではないのでしょうか。

現在、2020年では、コロナウイルスの影響で世界的に気持ちが落ち込んでいる人の割合が増えていると思います。しかし、そんなときにこそ、「人を楽しませること」が大切で、SNSで発信したり、医療現場への支援募金をしたり、少しずつ行動すべきだと思います。

また、見ず知らずの人に対しても、優しい気持ちを持つことが、それぞれの人が楽しく過ごすために必要なのだと思います。いずれ自分が年老いたときに、若い人に知恵を伝え、若い人が優しさを次につなぐことで過ごしやすい日常をつくることができると思います。

そのためにも、僕はまず身近な母のお手伝いから始めようと思います。そして、間接的な楽しませ方についても意識して、行動を起こしていきたいと思います。